

3 日本の儒学

① 受容

(1) 日本の[1]学（宋学）

「宋（中国の王朝名）代に成立した新しい儒学」

1 江戸幕府が官学化…幕藩体制の指導原理として

2 藤原[2]—「近世儒学の祖」

∴ 儒学を「飾りもの的な教養」ではなくした

→ [3]合一（世界と個人はシンクロ）を強調

3 林[4]—幕府支配を正当化

a 上下[5]の理…君臣上下の秩序 cf. 大義名分論と士農工商の身分制度

b [6]…「つつしみ」 ∴ 「道徳的修養＝修身」を重視

c [7]学問所…林 羅山が上野に創設した私塾

→ 死後神田の湯島に移された後に、林家が主宰する幕府直轄の学問所となった

② 展開

cf. 背景

- 鎖国（1639～1854）による外来思想の遮断
- 平和と秩序 ← 徳川政権の安定

(1) 山崎[8]

1 [9]神道…朱子学に神道をプラス ∴ 朱子学のジャパナイズ「日本化」

山崎闇斎の別号

2 [10]と[10]…信仰心にもとづく修身と「世のため人のため」活動することの重視

(2) [11]派（3人）

…古代の「周公・孔孟の学」に帰る

周の政治家

∴ 朱子学や陽明学を「後の世に生まれた新しい儒学」として批判

1 山鹿[12]—聖学…聖人（周公や孔子、孟子）の教えに直接学ぶ儒学

a 古学の祖

b [13]道…武士の修身と武士の使命を果たすための生き方

孔子の「人倫の道」の実行・実現

cf. [14]・オブリージ…人の上に立つ者の持つべき強い義務感

c 『[15]要録』

MEMO etc.